

令和7年度事業報告について

(令和6年10月1日~7年9月30日)

令和7年度は、16 連合会総会(前年同数)、支部総会は67 支部(前年62 支部)と、前年より多くの総会が開催され、支部活動が活発となった。令和7年度事業報告・収支決算について、次のとおり報告する。

<令和7年度本年度事業報告>

1. 青々会「ビジネスネットワークの集い」の開催

令和7年8月29日(金)渋谷エクセルホテル東急において、「ビジネスネットワークの集い」を開催した。卒業生69名(役員等含む)、学園関係7名、合計76名が参加し、盛会裡に終了した。本学の就職状況、求人システム紹介など、事業拡大、コスト削減、人員確保など、卒業生の課題解決の一助なるべく情報提供を行い、参加者相互の活発な情報交換が行われた。

2. ホームページ等の活用

ホームページから支部総会、青々会イベント等の情報を提供した。関東近県には、官製はがきで総会案内を送り、電話やメール、QRコードから入力フォームにて出欠を連絡する新たな方法の導入により、郵便代が削減され、迅速に出欠リストが提供された。

ホームページアクセス数 : 月平均約1,000件(6月1,796件) 前年比35%up

アジア青々会ネットアクセス数 : 月平均約 300 件 (登録会員数約 400 名) 前年比
4 %up

3. 会報発行(会則第 5 条第 1 号関係事業)

令和 7 年 6 月 10 日に「青々会報」第 121 号 (最終号) を発行した。

発行部数は 63,554 件 (国内 62,288 件・海外 1,266 件) となった。

4. 定例協議員会の開催(会則第 19 条関係事業)

令和 6 年 11 月 3 日(祝)午後 1 時から亜細亜大学 5 号館 521 教室において、令和 7 年度定例協議員会を開催した。第 1 号議案「令和 6 年度事業・決算書報告」、第 2 号議案「令和 7 年度事業計画 (案)・収支予算書(案)」について審議し、原案通り承認された。出席者 117 名。

5. 幹事会の開催(会則第 22 条関係事業)

令和 6 年 11 月 3 日 令和 7 年度第 1 回幹事会 出席者 45 名

令和 7 年 3 月 25 日 令和 7 年度第 2 回幹事会 出席者 30 名

令和 7 年 6 月 20 日 令和 7 年度第 3 回幹事会 出席者 26 名

令和 7 年 9 月 24 日 令和 7 年度第 4 回幹事会 出席者 26 名

以上、令和 7 年度幹事会は、青々会館会議室で開催した。

6. 会議・会合の開催(会則第5条第2号関係事業)

1) 三役会の開催

令和6年11月3日・令和7年3月25日・6月20日・9月24日の4回開催し、事業の進捗状況の確認及び意見交換を行った。

2) 学園幹部とのコミュニケーションの促進

事務局長、総務部長、学生部長と同窓会事業、学園寄付行為の変更等について、情報交換を行った。

7. 興亜神社例祭の挙行

令和6年11月3日(祝)午後3時から、母校キャンパス内に建立の「興亜神社」において、大学と共催で戦没校友の御霊を祀る興亜神社の例祭を挙行了した。

8. 第31回「ホームカミング・デイ」の開催

令和6年11月3日(祝)午後4時から、武蔵野キャンパスASIA PLAZA4階ホールで「ホームカミング・デイ」を大学と共催した。会員278名、家族19名の297名が参加した。

9. 「新春の集い」の開催

令和7年1月24日(金) 午後6時30分から、吉祥寺東急REIホテルにて、平成2年度卒の実行委員の協力で開催した。

母校から学長、副学長はじめ学園幹部の方々及び在学生の学友会執行部、青々会奨学金受給者等を含め、総勢 126 名が参加した。

10. 連合会・支部活動への協力(会則 5 条第 5 号関係事業)

1) 連合会・支部総会開催への協力

①16 連合会、67 支部で総会を開催した。(案内はがき発送約 7 万通・返信約 7 千通)

②連合会総会には、大学及び青々会からお祝金の贈呈、会長、副会長等役員が出席し、大学から学長、副学長、幹部職員の出席があり、総会参加会員との交流を図った。

③支部総会には、青々会からのお祝金の贈呈、本部より三役が出席して青々会並びに大学の近況報告を行い、総会出席の会員との交流を図った。

2) 海外支部活動の協力

今年度は、8 月 28 日にマレーシア支部総会を開催し、本学から出張した教職員含め 10 名の参加者があった。

11. 在学生活動の支援

1) 青々会奨学金

大学から推薦された学部学生 27 名に授与した。

2) 在学生諸活動の援助

学友会、体育会関係の全国大会出場、強化合宿等の支援のため、10件(370千円)の援助を行った。

3) 青々会賞の授与

◎自動車部 関東学生対抗軽自動車6時間耐久レース 学生一般の部 優勝

※団体の授与は1クラブで、個人の授与対象はなし。

12. 組織活性化賞

今年度の対象はなし。

13. 在校生応援活動

- 1) 硬式野球部応援活動 東都大学野球春・秋リーグの応援
- 2) 陸上競技部応援活動 箱根駅伝予選会応援
- 3) 女子陸上競技部 全日本女子駅伝、富士山駅伝の応援

14. 会員自主活動の協力(会則第5条第4号関係事業)

- 1) 会員及び支部からの問合せ・相談等の対応 問合せ件数は月10~15件
- 2) クラブOB会、ゼミOB会、寮関係OB会名簿及び宛名シール作成対応

15. 事務局関係(会則第5条第4号関係事業)

- 1) 情報収集

今年度も地方支部状況及び大学の対応等情報収集を図り、役員及び会員からの問

合せ対応を丁寧に行った。大学情報についても、ホームページから迅速な発信を行った。

2) 会員データ管理

①過去データの修正及び令和6年度卒業生1,458名の住所、就職先及びクラブ、ゼミコード等のデータ入力業務の実施。

②会報、総会案内送付後に戻ってきた宛名不明者約1,000件の追跡調査を実施し、正確な会員情報の把握に努めた。

3) 事業実施に伴う経費の削減への取り組み

4) 幹事会、協議員会及び三役会の会議資料作成、会場準備の実施。

5) 情報セキュリティに配慮し、会員情報の機密性や安全性を踏まえた取扱いを行った。

< 令和7年度収支決算報告 >

令和7年度収支決算は、別紙「令和7年度収支決算書」に記載のとおりであり、収支決算の概要は次のとおりである。なお、「貸借対照表」、「預金残高一覧表」「監査報告書」も別紙に掲載している。

・ 収入計 : 34,140 千円 (前年 32,691 千円 4.4%up)

・ 支出計 : 46,170 千円 (前年 38,906 千円 18.7%up)

・ 収支計 : △12,031 千円 (前年 6,216 千円から 5,815 千円支出増)

※支出増要因 : 総会開催増、事務局長退職金支払、BN2回分支払等の支出増加

以上